

チャレンジ支援推進地域事業中間報告書

都道府県

兵庫県

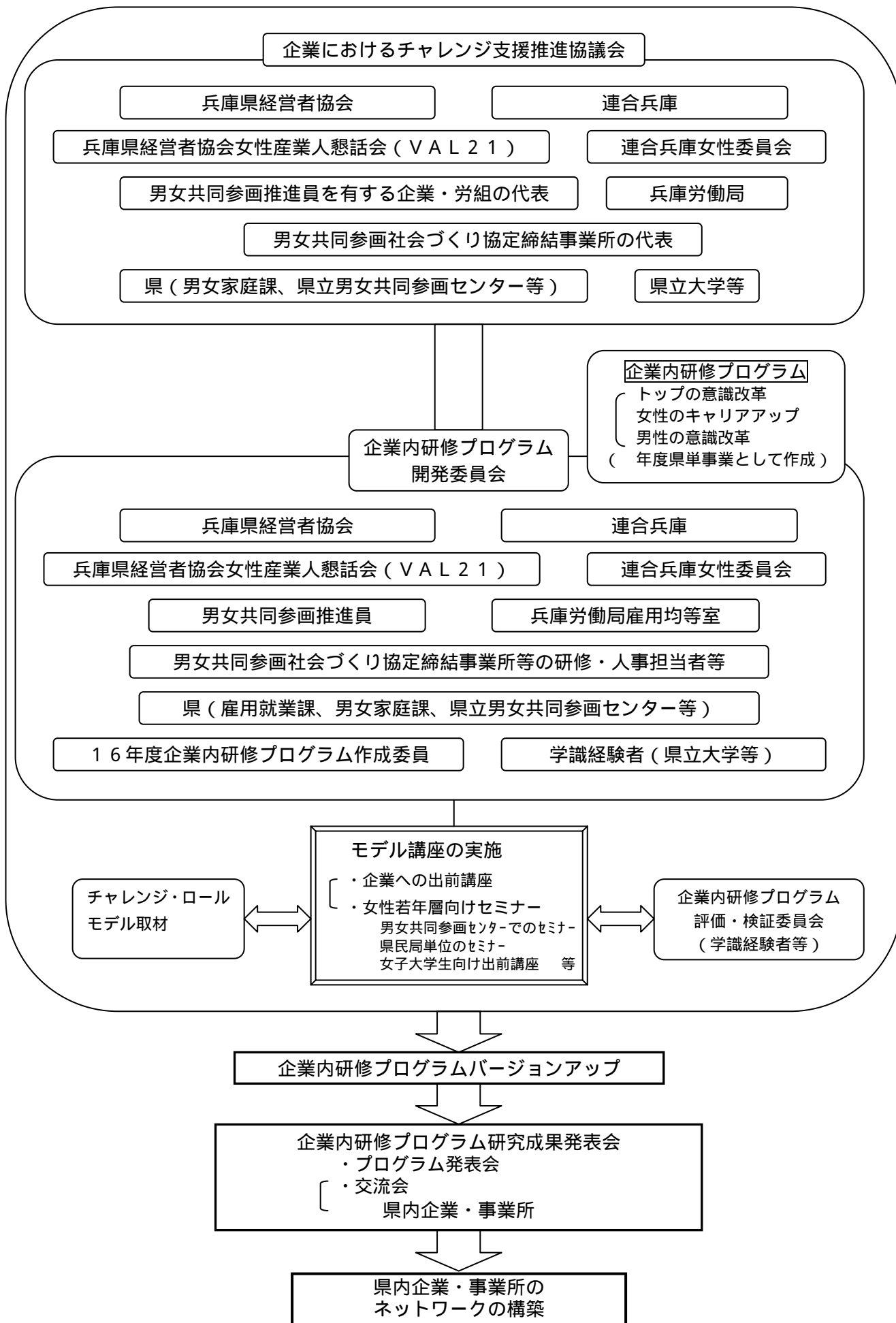
1 . チャレンジ支援推進地域事業の全体像	(事業名) 企業におけるチャレンジ支援推進ネットワーク事業 (ネットワーク等全体像) 本事業においては、女性の「上」及び「横」へのチャレンジに着目し、女性のチャレンジ支援に関し従来相互交流の少なかった企業、大学、行政等がネットワークを構築し連携して企業内での女性のチャレンジ支援や男女共同参画を積極的に推進していくことを目標とし、あわせて、若年層の女性に対するキャリア育成も行っていく。 ネットワークには、企業や大学の代表者等による企業におけるチャレンジ支援推進協議会や企業の実務担当者・学識経験者等による企業内研修プログラム開発委員会、学識経験者を主とする研修プログラム評価・検証委員会を包含し、最終的には、県内全企業・事業所からなるネットワークづくりを推進していく。 <ネットワークのめざすもの> (1) 企業トップ等の意識改革 (2) 女性のステップアップ支援、仕事と家庭の両立支援 (3) 企業内研修担当者の育成 (ネットワークの活動拠点は県立男女共同参画センターとする。) (ネットワーク参加機関) 兵庫県経営者協会、連合兵庫、男女共同参画推進員を有する企業(労組)、男女共同参画社会づくり協定締結事業所、兵庫労働局、県、県立大学等 (年間スケジュール) 別紙のとおり
2 . 事業内容及び事業計画の概要	(1) 事業内容 ア. 事業名 「企業におけるチャレンジ支援推進協議会」の設置 目標 本事業を推進していくにあたり、企業、大学、行政等が緩やかなネットワークを構築し、連携して企業内での女性のチャレンジ支援や男女共同参画を進める方策を検討していく。 運営組織 兵庫県経営者協会の代表者、日本労働組合総連合会兵庫県連合会の代表者、男女共同参画推進員を有する企業・労組の代表者、男女共同参画社会づくり協定締結事業所の代表者、兵庫労働局、県、県立大学等 その他 8月2日第1回会議開催、今後の予定は年間スケジュールのとおり イ. 事業名 「企業内研修プログラム開発委員会」の設置 目標 当県が16年度に作成した企業内研修プログラムを用いた研修の実践方法の検討や、実際にプログラムを活用した研修を行った際の問題点の抽出等研修プログラムの改良に関する意見をとりまとめるとともに、それぞれの機関の現状に関する情報交換を行うことによって働く場での女性のチャレンジ支援や男女共同参画を進めるためのよりよい研修プログラムに関する研究を行い、当該研修プログラムの見直しや改訂を行う。

	運営組織 兵庫県経営者協会、日本労働組合総連合会兵庫県連合会、男女共同参画推進員（企業、労組）、男女共同参画社会づくり協定締結事業所、兵庫労働局雇用均等室、平成16年度企業内研修プログラム作成委員等 その他 8月2日第1回会議開催、今後の予定は年間スケジュールのとおり ウ．事業名 企業への出前講座の実施 目標 出前講座を希望する企業に対し、プログラム作成委員等を講師としてモデル的に各企業へ派遣し、平成16年度作成の研修プログラムの検証を行うとともに、改良に関する意見を収集する。 運営組織 平成16年度プログラム作成委員、県立男女共同参画センター その他 実施状況及び今後の予定は別添のとおり エ．事業名 女性若年層向けセミナーの実施 目標 女性若年層の職業意識を確立するとともに就労意欲を高める。 運営組織 兵庫県男女共同参画推進員、大学、県立男女共同参画センター その他 実施状況及び今後の予定は別添のとおり オ．事業名 「企業内研修プログラム評価・検証委員会」の設置 目標 「企業内研修プログラム開発委員会」で改訂した企業内研修プログラムの評価・検証を行う。 運営組織 兵庫県経営者協会の代表者、日本労働組合総連合会兵庫県連合会の代表者、学識経験者、県 その他 実施予定は年間スケジュールのとおり カ．事業名 「企業内研修プログラム研究成果発表会」の開催 目標 県内の企業に広く呼びかけ、イで改訂した企業内研修プログラム及びウのモデル事業実施結果の発表と参加者の意見交換のための成果発表会を開催し、企業における女性のチャレンジ支援や男女共同参画推進の気運を高める。 運営組織 県内各企業及び事業所 その他 実施予定は年間スケジュールのとおり （２）成果と事業終了までの今後の課題 ネットワーク構成員の機関や企業から大学への講師派遣の実現など連携の動きが出始めている。また、企業内研修プログラムについても企業からの問い合わせを受けるなど、関心を寄せられ始めている。今後はどのようにネットワークを発展させ、男女共同参画、女性のチャレンジ支援の気運を盛り上げていけるかが課題である。
3．備考	
4．担当部課等	（所在地）〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-1-3 （部課名）兵庫県立男女共同参画センター就業援助課 （担当者）木村真理子

注）1 分量は、A4版2枚程度でお願いします。

2 参考資料があれば添付してください。

企業におけるチャレンジ支援推進ネットワークイメージ図



企業におけるチャレンジ支援推進協議会

* 年2回程度

* 企業内での男女共同参画の推進方策を考える

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
兵庫県経営者協会	常務理事・専務理事付	熊谷 昌之	
兵庫県経営者協会女性産業人懇話会	代表幹事	有光 穂子	
日本労働組合総連合会兵庫県連合会	副事務局長	土肥 淳二	
日本労働組合総連合会兵庫県連合会女性委員会	事務局長	松岡 さよ	
モロゾフ株式会社	取締役人事総務グループ長	尾崎 史朗	企業推進員代表・協定締結企業
P&Gファーマー・イースト・インク	エクスターナル・リレーションズ・シニアスーパーバイザー ダイバーシティ担当	柴山 純	
兵庫労働局	雇用均等室長	中村 みどり	
兵庫県立大学	副学長・学生部長・地域ケア開発研究所長	南 裕子	精神看護学、国際看護師協会会長
兵庫県産業労働部	参事(雇用推進担当)	川村 徹宏	
兵庫県県民政策部	地域協働局長	木村 光利	県男女共同参画推進本部事務局長
兵庫県立男女共同参画センター	所長	濱口 清子	

企業内研修プログラム開発委員会

* 年3回程度

* 研修プログラムの改訂作業を行う

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
兵庫県経営者協会事務局	常務理事・事務局長	森 健祐	ひょうご男女共同参画推進協議会委員 兵庫県男女共同参画審議会委員
兵庫県経営者協会女性産業人懇話会	副代表幹事	田淵 鈴枝	
	〃	藤田 美知子	
日本労働組合総連合会兵庫県連合会	男女共同参画担当部長	出石 弥生	
日本労働組合総連合会兵庫県連合会女性委員会	副委員長	高谷 かづ子	
モロゾフ株式会社	人事総務グループ人事専任課長	白石 清美	
P&Gファーマー・イースト・インク	ヒューマン・リソース・マネージャー ダイバーシティ担当	北尾 真理子	
兵庫労働局	雇用均等室 地方育児・介護休業指導官	楠田 裕世	
兵庫県立大学	助教授	開本 浩矢	16年度研修プログラム作成委員
福島大学	助教授	三崎 秀央	16年度研修プログラム作成委員
尼崎市立女性・勤労婦人センター	所長	須田 和	16年度研修プログラム作成委員
兵庫県産業労働部商工労働局	雇用就業課長補佐兼雇用均等・両立係長	岡田 由美子	
兵庫県県民政策部地域協働局	男女家庭課男女共同参画係長	手塚 昌美	
兵庫県立男女共同参画センター	就業援助課長	木村 真理子	
兵庫県立男女共同参画センター	情報アドバイザー	川邊 暁美	16年度研修プログラム作成委員

企業内研修プログラム評価・検証委員会

* 年1回

* 改訂されたプログラムの評価を行う

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
兵庫県経営者協会	会長	池田 志朗	
日本労働組合総連合会兵庫県連合会	会長	北条 勝利	
学識	京都大学名誉教授	上杉 孝實	社会教育・教育社会学(16年度研修プログラム作成委員会座長)
学識	兵庫県立大学経済経営研究所長	加藤 恵正	経済地理学
兵庫県	理事	清原 桂子	

事務局は兵庫県立男女共同参画センターにおく。

企業におけるチャレンジ支援推進協議会及び企業内研修プログラム開発委員会第1回会議 出席者名簿

企業におけるチャレンジ支援推進協議会

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
モロゾフ株式会社	取締役人事総務グループ長	尾崎 史朗	企業推進員代表・協定締結企業
P&Gファーマー・イースト・インク	エクスターナル・リレーションズ・シニアスーパーバイザー ダイバーシティ担当	柴山 純	
兵庫労働局	雇用均等室長	中村 みどり	
兵庫県産業労働部	参事(雇用推進担当)	川村 徹宏	
兵庫県県民政策部	地域協働局長	木村 光利	県男女共同参画推進本部事務局長
兵庫県立男女共同参画センター	所長	濱口 清子	

企業内研修プログラム開発委員会

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
兵庫県経営者協会事務局	常務理事・事務局長	森 健祐	ひょうご男女共同参画推進協議会委員 兵庫県男女共同参画審議会委員
兵庫県経営者協会女性産業人懇話会	副代表幹事	田淵 鈴枝	
	〃	藤田 美知子	
日本労働組合総連合会兵庫県連合会女性委員会	副委員長	高谷 かづ子	
モロゾフ株式会社	人事総務グループ人事専任課長	白石 清美	
P&Gファーマー・イースト・インク	ヒューマン・リソースズ マネージャー ダイバーシティ担当	北尾 真理子	
兵庫労働局	雇用均等室 地方育児・介護休業指導官	楠田 裕世	
兵庫県立大学	助教授	開本 浩矢	16年度研修プログラム作成委員
尼崎市立女性・勤労婦人センター	所長	須田 和	16年度研修プログラム作成委員
兵庫県産業労働部商工労働局	雇用就業課長補佐兼雇用均等・両立係長	岡田 由美子	
兵庫県立男女共同参画センター	就業援助課長	木村 真理子	
兵庫県立男女共同参画センター	情報アドバイザー	川邊 暁美	16年度研修プログラム作成委員

平成16年度研修プログラム作成委員代表

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
京都大学	名誉教授	上杉 孝實	16年度研修プログラム作成委員

事務局

団 体 名	職 名	委員氏名	備考
兵庫県立男女共同参画センター	主幹兼団体課長	木村 紀雄	
同	就業援助課 課長補佐	山本 薫	

企業におけるチャレンジ支援推進ネットワーク事業 年間スケジュール

[illegible]

企業におけるチャレンジ支援推進協議会及び企業内研修プログラム開発委員会

第1回会議概要

- 1 日 時 平成17年8月2日(火)
推進協議会・開発委員会合同会議 14:00～15:55
企業内研修プログラム開発委員会 16:00～17:00
- 2 場 所 兵庫県立男女共同参画センター セミナー室
- 3 出席者 別紙名簿のとおり
- 4 内 容

(1) 推進協議会・開発委員会合同会議

開会挨拶 県立男女共同参画センター所長あいさつ

委員紹介 事務局から出席委員紹介

座長選出 モロゾフ(株)尾崎氏を選出

企業内研修担当者用マニュアル「ダイバーシティ・マネジメントの確立に向けて」 作成の経緯

マニュアルの作成委員を代表して、京都大学名誉教授 上杉氏から説明。

・女性のチャレンジに関して、今まであまり取組みが進んでいなかった企業との連携を強めていこうとダイバーシティを切り口に作成した。理念編のあとに、プログラム例や研修シートなどが続く構成となっている。委員会を5回開き、16年度いっぱいかけて作成したが、これで完璧という訳ではないので、さらに練り上げていくための最初の段階のものと考えている。

意見交換

ア 各社・各団体の取組み発表

P&G ファー・イスト・イク、兵庫県経営者協会、兵庫県経営者協会女性産業人懇話会、モロゾフ(株)、連合兵庫女性委員会から女性の活用や男女共同参画に関する各社、各団体の取組みを発表

イ 企業内研修マニュアルに対するご意見

< 企業への出前講座結果報告 >

須田委員と濱口委員から、労組や企業へ出前講座を実施してみた結果明らかになったマニュアルの問題点などを報告。

< 意見交換 >

- ・事例集的な資料が加わると身近な課題解決により活用できると考える。
- ・ケーススタディに関する模範解答例があるといい。
- ・中小企業はどこから手をつけたらいいか、何をやればいいのかもわからない。中小企業の責任ある人に読んでもらえる工夫を。中小企業では、出前講座をやるからといって、何人も1カ所に集めるのは無理。この冊子はどのようなところに送っているのか。また、送るのであれば意見を集めるような工夫もしないと。

(事務局)500部作って協定締結企業や企業の男女共同参画推進員、VAL21の会員、経営者協会の理事などに200以上配布し、それら全てにアンケートをつけているが、返事をもらえたのは、10ほど。

・送るだけでは、「また来た」で終わってしまう。読んでもらうためには、再度の声かけが必要。届け方にもっと工夫がいる。

・余り詳しく書き込まなかったのは、自分でバリエーションをつけてもらうつもりで作ったからだが、無理な場合もあると思った。鳥取県での人権問題研修では、研修の出席と○×式のテストとの点数を入札の時に加点するという試みがなされている。

・これは誰が使うものなのか、使えない人もどうであれば使う気になるか。ダイバーシティに取組む意義が見えないと広がらない。ビジネスにいい影響があると明確に伝わった時に受け入れられる。見せ方も大切。タイトルの付け方など表面上の問題もある。すでに働いている人への働きかけは難しい。これから社会へ出る大学生への働きかけは意味がある。大学へ出前講座に行っているが、学生は皆柔軟であると感じた。

・道義的なものの言い方ではダメ。企業のイメージアップ戦略になるなど、何かメリットがないと。21世紀職業財団の調査でも、「女性が活躍している会社の方が業績がいい」などの結果が出ている。

女性が活躍すれば利益が上がる。女性が活躍できない企業はダメだということを訴えていかなないと。導入までの苦労話などお互いに情報交換できる場が必要。

・社内報などに、理念編の文章や事例を連載して入れてもらうなどの方法はとれないか。

・もともとは公民権運動からはじまったが、やっているうちに、これをやると儲かるということになって行き渡り始めた。企業の生き残り戦略になる。

(事務局)・もともとは中小企業を対象に短い時間でできるものも思っていたので、もっと手を加えていきたい。

・使う方は、その時に使う言葉そのものを聞きたいと思うもの。そのまましゃべれるようなものを。

・紙ではなく、ウェブ上で提供できないか。そうすれば、必要なところだけ、簡単に取り出せる。

・あくまでも理想論だが、1トピックあたりA4用紙1枚に収まるくらいコンパクトにできればいい。

・テーマのキャッチコピーに工夫を

・ビジネスマンが飛びつくようなキャッチを考えて。

ウ 事業全体の進め方

・兵庫県は女性の就業率が低く、あきらかに人材不足。特に技能者の世界は男社会で、ものづくり産業をもっと伸ばしていくため、女性にも目を向けてもらいたい。このマニュアルなども使って新しい領域の就職支援を大学と手を組んでできないか。

・様々な分野の人の実践的な話を聞く場というのはなかなかない。これをきっかけとして継続的にこのような場が持てたらいいと思う。

・大学との連携の必要性は感じている。均等法がらみの話で出前講座に協力することはできると思う。

(2) 企業内研修プログラム開発委員会

座長選出 兵庫県経営者協会 森氏を選出

意見交換

ア 具体的改良方法の検討

- ・プログラム例のタイトルを目次に一覧表でもっとわかりやすく載せたらいい。
 - ・60分とか90分とか時間の長さが調節できるようなものを。できれば30分コースも作って企業に合わせて選べるように。
 - ・中小企業にはなぜ必要か、いかに業績アップにつながるかを訴えるようなものに。
 - ・中小企業では勤務時間中の研修は考えられない。例えば、セクハラの問題がおきたら、それだけを時間外に、それも早く帰れるように30分ぐらいで実施するのが精一杯。
 - ・各プログラムごとに時間の選択をできるように。また、「ダイバーシティチェック」の結果によって、「おすすめのコースはこれ」というやり方もいい。
 - ・「ダイバーシティチェック」とうしろのプログラムとの関連がわかりにくい。連動させた方が選びやすい。
 - ・自社で研修できるようにするなら、このままでは経験のない人には無理。まとめ方ひとつにしても、どう言えばいいか、ポイントのみでなく、言葉そのものが必要。
 - ・このようにするといいいとか、ここは強調するとか、やる時のためのコツを、講師になる人のための研修を。
- (事務局) 企業の男女共同参画推進員の研修でマニュアルの使い方を勉強してもらう予定
- ・推進員が必ずしも、研修担当者とは限らないので、無理がある。使い道と使う相手を明確にしておく必要がある。必要なところだけ取り出せるような形のものがいい。
- (事務局) リングファイル形式のものも考えている。
- ・模範解答を入れるのがいいことなのかどうか疑問。応用が利かなくなってしまうのか。つけるとしたら、先輩からのアドバイスという形の方がいい。
 - ・模範解答とすると確かに応用ができなくなるおそれがあるが、「例」という形で回答例はあった方がいい。
 - ・ネタとしての事例をたくさん入れたらどうか。
 - ・今までの意見を聞いていると「やさしく、使いやすく」ということに集約されると思うが、ある程度の我慢も必要ではないか。A4用紙1枚や30分でわかるものがあるとしたら、それはかなり表面的なもの。そんな単にノウハウを書いただけのものなら、理念編など最初から要らないし、業者に任せておけばいい。県がする必要はない。安易に使いやすさに流れるのはどうかと思う。もともと参考としてもらうための一つの例として作ったものであり、あまり具体性を求めすぎるのはどうかと思う。すでにダイバーシティを導入しようとしている企業のためのものだと思っている。
 - ・難しいところで、あまり流されるのもよくないが、だからといって難しいと受け入れてはもらえない。
 - ・どこにフォーカスを充てるかが問題。
- (事務局) 自力でできるところへはそれを支援する形で、できないところについても底上げをするつもりでやればどうか。
- ・出前のあとの効果測定、フォローアップが必要ではないか。
 - ・基本的なところと、進んでいるところの2段階えにしているかどうか。

事務局でいかにあるべきか方向性を示して事務局案を提示のうえ第2回目の会議につなげる。

次回委員会 平成17年9月15日(木) 14:00~16:00

企業への出前講座一覧表

No	1	2	3	4
実施日	6月29日(水)	7月6日(水)	7月28日(木)	12月3日(土)
時 間	17:30～19:00	17:30～18:40	10:00～11:30及び13:15～14:45	午後(時間未定)
実施場所	三菱電機(株)労働組合	三菱電機(株)労働組合通信機支部	富士通テン(株)	小泉製麻(株)
実施主体	県立男女共同参画センター			
参加者	30名	15名	140名(2回に分けて実施)	
内 容	見直そう、男女で任せる職種や研修の機会、勤務への評価が違っていませんか？	仕事と家庭や生活の両立を考えよう	セクシュアル・ハラスメントのない職場づくり	セクシュアル・ハラスメントのない職場づくり
講 師	須田 和 男女共同参画学習アドバイザー 尼崎市女性センター所長	須田 和 男女共同参画学習アドバイザー 尼崎市女性センター所長	濱口 清子 兵庫県立男女共同参画センター所長	須田 和 男女共同参画学習アドバイザー 尼崎市女性センター所長

女性若年層向けセミナー一覧表

区分	男女共同参画センター分	女子大学生向けセミナー					
No	1	1	2	3	4	5	6
事業名	ひょうごフォーラム	兵庫教育大学出前講座	兵庫県立大学出前講座			神戸大学出前講座	賢明女子学院短期大学出前講座
実施日	7月2日(土)	7月13日(水)	11月7日(月)	11月14日(月)	12月5日(月)	11月頃	12月3日(土)
時 間	13:30～15:30	15:40～17:00	16:20～17:50				14:00～15:00
実施場所	クリスタルホール	兵庫教育大学	兵庫県立大学書写キャンパス			神戸大学発達科学部	賢明女子学院短期大学
実施主体	県立男女共同参画センターほか	県立男女共同参画センター	県立男女共同参画センター			県立男女共同参画センター	賢明女子学院短期大学
参加者	県民200名	3回生56名	80	80	80	2回生約20名	3回生及び保護者約130名
内 容	講演 夢は自分でつかもう ～私らしくあわせになる方法～	講演 どうつくっていく？私のキャリア ～先輩に聞いてみよう～	講演 メディアの中の性差	講演 企業における人材活用 の取組み	講演 メディアで働く	未定	未定
講 師	半田まゆみ (ヘアラルト阪神理容美容専門学校理事長)	中村 和子 (嬉野台生涯教育センター 婦人・家庭課長)	小川 真知子 (西宮市男女共同参画 センター専門職員)	・兵庫労働局雇用均等室 ・牧野 光 (P&Gファーマー・イースト・インク 営業統轄本部ヒューマンリソース トレーニング・リクルーティング・ダイバーシティ担当マネージャー)	相川 康子 (神戸新聞社論説委員)	未定	清水 英子 (兵庫県立男女共同参画センター 情報アドバイザー)

区 分	地 域				
No	1	2	3	4	5
事業名	三木北高校出前講座	男女共同参画セミナー	子育て中のお母さんのための 再就職準備セミナー	男女共同参画セミナー	子育て中のお母さんのための 再就職準備セミナー
実施日	6月3日(金)	6月20日(月)	7月14日(木)	9月3日(土)	9月29日(木)・10月13日(木)
実施場所	三木北高校	播磨町中央公民館	県立男女共同参画センター	県立先端科学技術支援センター	県立男女共同参画センター
時 間	14:25～15:15	10:30～12:30	9:30～12:00	10:00～12:00	9:30～12:00
実施主体	県立男女共同参画センター	とうばんウィズ(男女共同参画 推進員東播磨地域連絡会議)	県立男女共同参画センター	西播磨地域男女共同参画推進 会議	県立男女共同参画センター
参加者数	14名	20名	17名	50名	20名
内 容	講演・グループワーク 「働く」ってことを考えてみよう	講演 女性のライフサイクルとストレス	講演 子育て中でもできる！ 再就職の準備	体験トーク 育児休暇を取得した男性の話 を聞きましょう	講演 もう一度働きたい！ ～今日から始める準備いろいろ～ 情報提供 チャレンジするあなたをサポート ～知って得する支援制度活用術～
講 師	須田 和 男女共同参画学習アドバイザー 尼崎市女性センター所長	前村よう子 (有)女性ライフサイクル 研究所	萩原紫津子 ミズプランニング	内藤弘正 京都府立高校教員	佐野 智世 キャリアカウンセラー・マーケティングプランナー (財)21世紀職業財団ほか

区 分	地 域				
No	6	7	8	9	10
事業名	男女共同参画入門セミナー	もっと知りたい！見つけたい！ 仲間と探そう未来の自分	女性若年層向け地域セミナー		
実施日	10月27日(木)	11月26日(土)	11月26日(土)		
実施場所	浜坂町文化会館	県立男女共同参画センター	四季の森生涯学習センター		
時 間	10:30～12:30	13:00～16:00	13:30～15:30		
実施主体	但馬地域男女共同参画推進会 議「響ネット但馬」	(財)兵庫県青少年本部青少年交流サ ロン ココロonz・北播磨青少年交流 サロン はっぴーばれっと	丹波地域男女共同参画推進員 会議		
参加者数	30名	50名	30名		
内 容	未定	パネルディスカッション 1部「教えて先輩！青少年活動で感じる力」 2部「見つけよう！あなたを支える大きな力」	事例発表・グループワーク 「わたしも何かやってみたい」		
講 師	須田 和 男女共同参画学習アドバイザー 尼崎市女性センター所長	山崎 清治 NPO法人生涯学習サポート 兵庫事務局 ほか			